

令和4年度第1回高梁・新見地域医療構想調整会議概要

日時 令和4年9月22日(木)13:30~14:40

場所 高梁国際ホテル

開会あいさつ（則安所長）

新型コロナウイルス感染症は3年目を迎えており、皆様にご尽力いただき感謝いたします。平成28年度に岡山県地域医療構想が策定され、長寿社会での医療提供のあり方、地域での支え合い、地域包括ケアの推進等、地域の実情を踏まえて、議論を重ねてきた。人口減少の地域であるが、モデル的な取り組みもある。本日もご協議いただきたい。

議長あいさつ

議長を拝命しよろしく申し上げます。私から今までの総括をいたします。当初は病床数が話題で、高梁・新見圏域の受診率は50%と低く、高齢になると近くの受診ができなくなるのか、どうしたらよいのかと思っていた。当圏域は看護師等の年齢が高く、若い医療・介護従事者を増やしていく必要があり、努力してきた。これから何をを目指すのか考えていきたい。行政にはお世話になり、各種取組を通じて意思疎通が図られてきた。

議題

(1) 岡山県地域医療構想担当者会議の報告

資料1-1 次期医療計画の策定に向けた検討状況等について（説明略）

資料1-2 地域医療構想について（説明略）

資料1-3 外来機能報告について（説明略）

(2) 高梁・新見圏域の現状

（地域医療構想策定ガイドラインから）

将来のあるべき医療提供体制について、医療機関の自主的な取組等を促すとともに、住民の理解や適切な受療ができるよう、データの収集と活用や議論を進めていく。

（資料2から見えること）

県南への流出、連携を考えながら、病床数を考えていく

全県では推計値より実測値の方が多い

高梁・新見では、全疾患で推計値より実測値が少ない。

2045年までの人口予測を勘案して必要な医療を考えていくこと

効率的な医療提供に向けて、医療収益やどの疾患の診療が必要なのか

心筋梗塞 年齢調整死亡率 全県では男性ワースト3位、女性ワースト4位

高梁・新見圏域 もっと悪い

救急搬送時間が長い 他

(3) 質疑応答・意見交換

委員) 10年後は加齢していくので、さらにどうしていくか。心筋梗塞他罹患しない取組

を考えていくことが必要ではないか。専門的な医療だけでなく、総合診療できる体制等も必要と思う。

事務局) 医療体制については、現状認識の観点や、人的なこと、経営状況等も併せて考えていくことが必要。先ほどの心筋梗塞についてのデータは、全国的な発症予想をもとに算出したもので、予防も含めたより適切な医療体制を考えていきたい。

議長) 地域ではいろいろ連携が進んでおり、病床数については、大きな問題がないと思うが、今後も引き続き検討していきたい。

副議長) 中断していた会議であるが、開催され議論できた。病床については少しずつ縮小しており、住民が困らないように。介護も困らないように。これからもよろしくをお願いします。